



いずみ

No.75

街なかの美を守ろう

(題字 國松 明日香)

自作自選 45



(撮影 前澤良彰)

《鳥を抱く女》

井越 有紀

(2 ページに「作者の言葉」)

自作自選 45

作者の言葉

素材が持つ柔らかい性質を活かし、生命に触れた時に感じる温かさや存在感を表現しています。「鳥を抱く女」は、柔らかに鳥に手を添えながらも、しっかりと前を見つめています。

昨年中止になった札幌国際芸術祭で展示を予定していた作品です。

(1981 年、札幌市生まれ。札幌を拠点に活動)

タイトル：《鳥を抱く女》

制作年：2018 年

技法：ナイロンと綿によるスタ
ッフイング

サイズ：H130×W170×D110mm

設置場所：作家蔵

連載 宮の森の四季 45

本郷新記念札幌彫刻美術館

希望のシンフォニー

業務係 山下秀幸

昨年 2020 年はルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）の生誕 250 周年。世界中でベートーヴェンの演奏会や展覧会などが企画されていましたが、コロナ禍で 3 月以降、ほぼすべての催しが中止や延期を余儀なくされました。

北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団も、コロナに翻弄されました。10 月、ようやく開催にこぎつけた演奏会で取り組んだのが、ベートーヴェンの交響曲第 8 番でした。この第 8 番は、人気の高い第 7 番、圧倒的な存在感の第 9 番に挟まれ印象が薄いようですが、ベートーヴェン自身がとても愛着があり、1814 年に初演された時の不評さに、彼は「この曲があまりにも優れているので聴衆には理解できなかったのだろう」と述べたといわれています。演奏時間は 30 分あまりで小規模ですが、全編を通して明るい旋律が貫かれ、親しみやすく軽やかな印象があります。この曲を作曲した 40 代の頃には、ベートーヴェンはすでにほぼ聴力を失っていました。彼ほど苦悩に満ちた生涯を送りながら、芸術（音楽）への強い情熱をもって、それを乗り越えようとした音楽家はいないかもしれません。彼は“Durch Leiden Freude”「苦悩を突き抜け歓喜に至る」という言葉を遺しています。そんな苦しみの中でベートーヴェンが譜面に託した希望を今に伝えることが、再開した演奏会の狙いであり、団員たちの強い思いでした。その演奏会の名前が「希望のシンフォニー」。

この原稿が活字になる頃には、雪解けとともに、重苦しい時代のうねりの中に光明が射し、希望が届いていることを願います。



「変化する余白」

彫刻家 藤沢レオ

一年程前、世界の、そして日本の未だ止まぬ混乱が始まりました。

様々な混乱は多くのメディアでご存知と思いますので、私のような一彫刻家がどう過ごしたかという些細な話を記そうと思います。

近年はわずかに続けていた通年の時間講師を数年前に辞め、自分のスタジオで内省と制作に時間を割くようになっていました。それは勤めや人付き合いが嫌になったわけではなく、制作する時間が足りないと切実に思うようになったからです。それからの生活は制作が中心で、制作のみが生業となりました。その中で打合せや展覧会、現地調査、研究など必要な外出だけでも年の3分の1程度はスタジオ以外での活動になっていました。また、多くの出会いもあり、新しいチャレンジもあり、非常に充実した日々が続きました。心身ともに芸術に対する準備が整っていったように思います。

そして昨年、次のステップと意気込んで海外の活動もいくつか計画していましたが、瞬く間に中止が決まり、国内の活動も中止または延期と、さらには長く取り組んできた地域活動にもブレーキをかけざるを得ませんでした。春を迎える頃には随分と景色が変わっていました。しかし、内省を続ける中で実はそれほど多くのものが必要ではないことも感じていました。正しく言う

とそれほど多くのことが私にはできないということでもあります。中止や延期になった活動一つ一つから生まれた時間的余白は私にとっては魅力的でした。

ほとんどの打合せがリモートに切り替わり、移動時間が余白に変わり、さらに様々な研究や発表の機会がリモートの普及によって容易に得られることになりました。

本来、暇という時間には人の想像力の端緒が詰まっていたはずで、その暇を取り戻したような感覚がありました。延期になった展示では再度自作の在処を巡る脳内旅行の時間となり、中止になったアートイベントではその中止告知自体をアート表現によって来期への希望に変え、変更なく開催された展覧会では日常を見つめ続ける作品がより強く観客に伝わることにもなりました。

昨年拝聴した小田原のどかさんの講演では「彫刻は変わらない。私たちが変化するのは」とおっしゃっていました。

日々変化する日常を過ごしながら、繊細にしなやかに応答することで、変化する余白を創造性豊かな時間へと変換し、自己をも軽やかに変化させ、新しい時代を生きることが求められているように思います。そのような内省をスタジオで抱きながら、また次作の彫刻へと向き合っています。

中村 哲ちゃん、と同窓 3 人のこと 「他の人の嫌う所へ行け」を貫いた男

札幌彫刻美術館友の会副会長 高橋大作

アフガニスタンで人道支援活動に取り組み、福岡市の非政府組織「ペシャワール会」の現地代表だった医師、中村哲さんが武装集団の凶弾に倒れて亡くなったニュースは未だ人の記憶に鮮明に残る。その中村医師と高校時代の同窓生だったという友の会副会長、高橋大作さんに一文をお願いした。



中村哲さん（左）と
藤堂さん

アフガニスタンにいた中村哲さんは2019年12月4日朝、ジャララバードで用水路の建設現場へ向かう際に、何者かに銃撃され死亡した。中村哲さん（小生らは「哲ちゃん」と呼んでいた）と世界で脳死移植に尽力してきた北大名誉教授（現・聖マリア学院大学大学院教授・福岡県久留米市）の藤堂省君と小生は、同じ福岡高等学校の同窓で、3人は親しかった。中学や高校で読んだ本でも印象に残ったのは偶然にも3人とも同じで、内村鑑三の『後世への最大遺物』であった。後の世へ遺す最大のものは何か、という内容である。ちなみにこの本の中には哲ちゃんが主宰したペシャワール会の標語にした言葉が載っている。アメリカで女子の神学校の校長メリー・ライオンが卒業式の時に述べた言葉、「他の人の行くことを嫌う所へ行け。他の人の嫌がることをなせ」。そしてこの本の中で内村は、後世へ遺す最大のものは何か、と問い続け、最後に「勇ましい高尚なる生涯」であると言い切っている。哲ちゃんは淡々とその道を歩み、進めてきたのだと思っている。

彼は登山と昆虫採集が好きだった。それ故福岡の登山会がティリチミール遠征隊を結成し、それに付き添う医師として応募した。「現地パキスタンの高山では『ゼフィルス』がいる。日本語ではシジミチョウだが、意味は『そよ風』という意味だよ」というふうに帰国後に楽しそうに同窓に語っている（英語ではゼファー、ギリシャ神話の西風の神ゼピュロスが語源）。帰ってきてから別の同窓に「近いうちに、僕はこの山に行くことになる。こ

の山に来なさいとの神の啓示に逢った」と述べている。現地に行き、ある村の住人の過半数が結核で、同じ人物がハンセン病を患っていることも知り、現地の病院へ赴任することを強く希望した。

彼はもともと精神科医であったので新たに英国の熱帯病の医学校へ行って学び、また内科や外科も学びなおし、1984年、哲ちゃんはパキスタンのペシャワールへ、同じ年に藤堂君は米国ピッツバーグ大学へ永住のつもりで臓器移植の勉強のためにアメリカへ旅立った。

2001年、アメリカで9・11同時多発テロが発生した。また、その少し前から現地では大干ばつが起こり、医療どころの話ではなくなり、飲み水を確保するのに1600本の井戸を掘り、アメリカが攻撃してくるというので、越冬のための緊急の募金活動を日本全国で行った。5000万円の目標であったが、何億円もの浄財が集まった。このことは後に彼自身が重機を操縦し、ガンベリ砂漠を緑の沃野にする「緑の大地計画」で大規模な農業用水路を作ることになった遠因でもある。

結果65万人の農民たちが帰り、いろいろな農産物が採れるようになり家族で穏やかな生活ができるようになったのである。その間にも彼は10歳になる次男を脳腫瘍で亡くした。

冒頭の1枚の写真をご覧ください。亡くなる4か月ほど前に福岡空港で撮ったもので、哲ちゃんは岐阜へ、藤堂君はアメリカへ行く時に偶然出会った。亡くなってすぐに藤堂君が送ってきてくれた。「最後の写真ばい！」

私の友の会活動 今昔

高橋淑子（会員）

私の友の会活動は2002年「いずみ」の第1号発行時にさかのぼる。ワープロの技術も拙く、印刷は家庭用プリンター、ページ番号は切り張りしてからコピーする有様だった（友の会HPの「会員ページ」から「会報バックナンバー」をクリックしてご覧ください）。気が付けば、足掛け20年で本誌第75号まで…。まさに継続は力なり。

次に携わったのが、彫刻清掃。クレーン車に乗って、《黒田清隆像》（大通西10丁目）と握手できたことは良い体験となった。清掃とあわせて、参加者への彫刻解説も手掛けることとなり、解説をしてみたいという意欲的な会員による学習会も生まれた。清掃活動を見ていた人が友の会に入会してくれるというおまけも。参加して興味を持った藤女子大の学生さんたちが解説に取り組みたいと勉強を開始するなど予期せぬ方向へと活動を広げてくれた。学生とのコラボで、いよいよ解説をとという矢先、コロナ禍に阻まれたのはとても残念だが、オンラインを利用して発展させてみたい。

札幌市に収めるためのビデオ制作も何年か続いた。第1号は「野外彫刻に学ぶ札幌の歴史」。偉人の彫像を題材に歴史をたどれる内容を目指してシナリオを作成したことは札幌を知る良い機会であった。

2018年から彫刻美術館の図書コーナーの支援活動を行っている。初手は、本郷新の蔵書が元となった約3000冊に及ぶ図書の整理。本と一覧表を照合し、ラベルを背表

紙に貼る。黄色く変色し、さわれば崩れそうな昭和の美術全集や、大きく立派で重い写真集など、興味深い本ばかり。整理が終わった暁には広く公開され、貸し出されることを夢見ながらの作業は冷暖房の無い書庫での暑さ寒さを我慢しても余りあるやりがいをもたらしてくれた。特に興味を持ったのは、資料として残されていた電話帳だ。薄っぺらで電話番号の桁数も少ない昔の稚内市のもので、表紙に本郷新自らスケッチした稚内市・稚内公園の《氷雪の門》の姿が載っていたのだ。本郷新ゆかりの美術館で保存されていなければきっと古新聞と一緒に回収されてしまったはずのこの一冊。断捨離ばかりが良いとは言えない？と感じた。

図書整理が終わると、本郷新が投稿したスクラップ記事のデジタル化。故仲野三郎会員がコツコツと手書きしたスクラップ一覧表をエクセルファイルに仕立て、実際の記事はワードファイルにする。昭和20年代、本郷新が初めて訪ねたヨーロッパから新聞へ寄稿した文章は外遊の興奮冷めやらぬものであった。ルビや旧漢字は原文のままというのはなかなか骨が折れる作業だが、疎開先の母に弟の戦死を電話で伝えた本郷新のエピソードなど涙なしでは読めない記事に触れられる特典付き。

現在も医療雑誌、「ケア」への連載記事、HP用解説文作成などが進行中だが、すべての活動は会長をはじめとする会員仲間の協力なしにはできない。改めて皆様に感謝。

「ヤマウチ」か「ヤマノウチ」か
美術評論家
柴橋伴夫氏と意見交換
山内壮夫呼称論議

昨秋、公開の講演会で彫刻家山内壮夫の読み方をめぐって、講師が友の会の設置した作品案内板の表記を「ヤマウチと読むのは間違い」としたことから山内壮夫の呼称論議が起こった。

事の発端は昨年10月30日、SCARTS で開かれた本郷新記念札幌彫刻美術館主催の講演会。講師の美術評論家・柴橋伴夫氏が講演の中で大通公園の山内作<花の母子像>につけられた友の会作成の案内板に触れ、「ヤマウチタケオのルビが振ってあるが間違い。正しくはヤマノウチタケオ」と主張した。

講演会には友の会からも8人が参加しており、後日、柴橋氏に対し、講演で触れた道銀ロビーの《大地》には「T. YAMAUTI」と刻まれているほか、他の彫刻作品、図録にも「ヤマウチ」があり、友の会としては山内家の希望も入れ、2017年からヤマウチの表記を使っていると主張、柴橋氏が「ヤマウチ表記

は間違い」とした根拠を求めた。

これに対して同氏から、美術年鑑や公的美術館発行の図書、資料などでヤマノウチと記しているほか、美術館の収蔵作品でもヤマノウチのケースがあるなどとして、「本人がヤマノウチとして作品を制作、発表したのだから、それを大切にすべき。二つの名前が併存すれば混乱する。広く定着している名前で行くべきだとの意味を込めた」と主張し、意見はすれ違った。

会としてはさらに、札幌市内ではヤマノウチ表記は《希望》像だけ。また、新聞掲載の山内のエッセイの署名にもヤマウチタケオのルビが振ってあると指摘をしたが同氏から「自分の見解は変わらない」との返事があり、結論は出なかった。

北海道デジタル彫刻美術館
友の会 HP で公開

友の会の念願だった全道の彫刻を網羅した「北海道デジタル彫刻美術館」が1月、友の会のホームページ上で公開された。

道内にあるざっと 3000



点余の彫刻が地域別、作家別などで簡単に検索可能。さらに、各作品の作品名、作家、素材、設置場所、管理者、解説文、写真が添えられている。友の会 HP にある札幌の彫刻を対象にした「街なかの美術館」の姉妹編。

「屋根のないバーチャル彫刻美術館」としてだれでも、自由に利用でき、各地域の美術教育、文化財保護、観光資源としての利用など幅広い用途での活用が期待されている。

札幌彫刻美術館友の会

2021年度総会

日時: 5月8日(土)

13:30~

場所: カナモトホール

(札幌市民ホール)

中央区北1西1

特別講演

本郷新記念札幌彫刻美術館

学芸員 **山田のぞみ氏**

医療雑誌「ケア」連載 「北海道野外彫刻美術マップ」

4年目に入り好調

北海道医療新聞社の依頼で友の会が雑誌「ケア」に連載している「北海道野外彫刻美術マップ」が順調に回数を伸ばし、4月から最終年度に入った。



同誌への連載は2018年4月から2年間続いた「さっぽろ野外彫刻美術マップ」に続き、4年目。20年4月号から22年3月号まで2年間の予定で「北海道野外彫刻美術マップ」シリーズを連載中。道内の彫刻を道の振興局単位で紹介するもので各回1市町村から1点を掲載中。

これまでの掲載作品

1	石狩市	無辜の民	本郷新
2	小樽市	炎	一原有徳
3	苫小牧市	勇払千人同心	本郷新
4	赤平市	SAKIYAMA	流政之
5	浦河町	トウショウボーイ号	西平孝史
6	函館市	若き星たち	小野寺紀子
7	帯広市	依田勉三翁之像	田嶋碩朗
8	釧路市	松浦武四郎 蝦夷地探検像	中野五一
9	根室市	四島のかけ橋	蓮田修吾郎
10	旭川市	手	木内禮智
11	せたな町	荻野吟子女史顕彰碑	本田明二
12	江別市	風の門	原田ミドー
13	岩見沢市	友だち	朝倉響子

友の会「つぶやき」コーナー

男のひとりごと

声を出さない彫刻はマスクをしない。音を出さない彫刻の存在に見えない僕は気付かない。触れたら語るものがあり、景色を想像で描く。友の会の声が彩りをくれて、デジタル彫刻美術館が存在を教えてくれる。彫刻は密にならないけれど、彫刻に集い密になれば想像は華やかになる。そんな日を願いつつ。

越山正禎

1966年ごろ、東京の美大の通教を受講し、札幌でも集いがあり、友の会の顧問の國松明日香さんのお父様、國松登さんに指導して頂きました。我々は商業美術デザイン科だけど穏和に構図や色彩など個々の課題作を見て頂きました。北海道の重鎮とも知らず、その頃は。良き思い出です。感謝。

時安勝利

北海道・北東北の縄文遺跡群のユネスコ世界文化遺産への登録が審査されている。縄文のユニバーサル・バリューとは何だろうか。21世紀は東洋的（万物斉同）と西洋的（合理性）が融合する時代。東洋や西洋が始まる以前の人類共通の根源性として「縄文の世界観」が新しい時代を切り拓いていくこと、楽しみです。

米澤修吾

私はペーパードライバーならぬ彫刻の会のペーパー会員である。会員としてとくに積極的に活動しているわけでもない。皆さんのお尻について話を聞くだけである。ところが街を歩いて野外彫刻をみると立ち止まる癖が着いた。芸術として鑑賞するほどの感性もないが、何かしら満たされる感じがする。野外彫刻はオーラを出している。

望田武司

事務局日誌

▼2020年12月5日＝清掃用具備品調査(中島公園管理事務所)
▼10日＝定例役員会(エルプラザ)会報74号編集ほか▼29日＝会報発送(エルプラザ)▼2021年1月9日＝デジタル彫美学習会(エルプラザ)解説文学習▼13日＝定例役員会(エルプラザ)「ケア」3月号企画、デジタル彫美公開準備▼29日＝デジ彫美打ち合わせ(エルプラザ)管理運営法など話し合い▼2月11日＝定例役員会(エルプラザ)美術マップ冊子化検討など▼17日＝デジタル彫美学習会(エルプラザ)解説文研修▼21日＝デジタル彫美プログラミング学習会(エルプラザ)

編集後記

▼高橋大作副会長からアフガニスタンで亡くなった中村哲さんとの思いがけない友情の原稿を寄せてもらった。会議の席上、ふと出た話から貴重な原稿になった。感謝。▼楽屋裏の話だが、予定した原稿が締め切りまでに入手できず、図らずも高橋淑子さんに急遽、原稿をお願いし、快諾をいただいた。急な原稿依頼にこたえてくれた高橋さんに感謝。(大内)

札幌彫刻美術館友の会

会報「いずみ」 No.75

2021年4月1日発行

発行人 橋本 信夫

編集者 大内 和

(札幌市清田区清田5-4-6-30)

011-884-6025)

印刷 山藤三陽印刷

会報「いずみ」75号 目次

自作自選45 《鳥を抱く女》	井越有紀	・ 表紙
宮の森の四季45「希望のシンフォニー」	山下秀幸	・・・ 2
風見鶏「変化する余白」	藤沢レオ	・・・ 3
寄稿「中村哲ちゃんのこと」	高橋大作	・・・ 4
寄稿「私の友の会活動今昔」	高橋淑子	・・・ 5
友の会ニュース		・・・ 6-7
山内壮夫呼称をめぐって/デジタル彫美HP公開/2021年総会予告		
つばやきコーナー		・・・ 7
事務局日誌、目次、美術館行事予定ほか		・・・ 8

本郷新記念札幌彫刻美術館行事予定

本 館

■没後40年記念展 本郷新・全部展③ 「彫刻の設計図」

4月10日(土)～6月27日(日)

本郷新の野外彫刻は全国におよそ100点が設置されている。それらの像が完成に至るまでに模索された貴重な設計図やラフスケッチなどを紹介。本郷の思念、思想を読み取る。

記念館

■没後40年記念展 本郷新・全部展②

～4月22日(木)

若かりし頃のブロンズ彫刻を中心に本郷芸術の揺籃期に焦点を当て、ロダンや高村光太郎からの影響下での制作から独自の作風を確立するまでをたどる。

■没後40年記念展 本郷新・全部展④ 「100の石膏像」

4月29日(木)～2022年4月22日(金)

館所蔵の石膏像364点のうち、野外設置のため4メートル級の大型の彫像から細やかな造形美に触れられる小像に至るまで100点を厳選して紹介。

本郷新記念札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条12丁目 ☎011-642-5709

友の会ホームページ公開中です！ご覧ください

<https://sapporo-chokoku.jp>